

中西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第17号 令和5年9月12日



親子読書

今年度も夏休みの宿題の一つとして、親子読書がありました。それぞれの家庭で読書の時間とって、取り組んでいただいた読書カードを拝見しましたところ、低学年では、「子どもに読んでもらおうと新鮮な気持ちだった」「図書館を利用し、多めに本を借りることができた」高学年では、「交互読みをし、物語について感想を話すなど普段とは違う楽しい時間を過ごせた」「親が好きな作家の本を薦めたら子どもが読んでくれ、共通の話題が増えた」など、親子読書がよいきっかけになったと答えてくださる家庭が多く見られました。また、子どもたちの中には、読んだ本に感動し、びっしりと感想を書いたり、たくさんの冊数の本を読んだため、裏面にまで読んだ本の題名を記したりする子もいました。親子で読むことが嬉しかったり、本の内容について質問や感想を話し合うことに楽しさを感じたりする子も多く見られました。

今回の親子読書を通して、家庭にゆったりとした時間が流れたであろうことを想像すると、ほんわりと心が温かくなります。長期のお休みも終わり、また毎日の忙しい日常に戻ったとは思いますが、秋の夜長にわずかな時間でもかまいませんので、読書に充てられてみてもよいですね。



学年スピーチ



朝礼後に今年度4回目のスピーチがありました。今回は、2～6年生の8名が夏休み中の思い出や2学期にがんばりたいこと、自分の誕生日について話をしてくれました。どの子も、伝えたいことがしっかり伝わるように、内容をよく考えて話ことができました。声も大きかったので、大変聞きやすく、立派でした。

